

令和 6 (2024) 年度日本歴史研究専攻授業計画

授業名	日欧物質文化交流論		
担当教員	日高 薫		
授業概要	16 世紀以降のヨーロッパとの交流を通じて海を渡った日本美術等の実例をとりあげ、製作の背景や、様式的特徴、移動の経緯、受容の実態、相互影響などについて、多面的に考察する。(講義および演習)		
教育目標・目的	貿易や、収集、贈答などの行為によって海外に移動することとなった日本の物品についての歴史的知識を深めるとともに、それらをめぐる文化を複眼的にとらえ、異文化接触に際して「もの」が果たした役割について考えることを目標とする。また、具体的な「もの」からさまざまな情報を読み取る方法について考察し、物質文化研究に必要な実践力を養う。		
成績評価	授業への参加状況 (50 パーセント) および研究発表や討論の内容 (50 パーセント)		
授業計画	1. イントロダクション	9. 贈答美術品 (1)	
	2. 輸出漆器 (1) 技法と用語	10. 贈答美術品 (2)	
	3. 輸出漆器 (2) 様式的特徴と変化	11. 在外日本資料の研究状況	
	4. 輸出漆器 (3) 受容と影響	12. 在外日本資料の実例分析	
	5. 輸出漆器 (4) コレクション	13. 研究発表	
	6. 輸出漆器 (5) 実例分析	14. アジア諸国間交流との比較	
	7. もの資料の調査方法 (1)	15.小括	
	8. もの資料の調査方法 (2)		
実施場所	大学院演習室および資料調査室	使用言語	日本語
前期・後期の別	前期	対象年次 3, 4, 5	単位数 2単位
教科書・参考図書	講義中に紹介する		
備考	http://e-zaigai.jp/		